

☆キャリア教育通信☆



須崎のキャリア教育^{プラス}



☆実感をともなう理解 ☆知的好奇心を高める授業 ☆将来とつなげる授業

須崎市キャリア教育推進員の橋村です。今回は**体験活動と評価**について、書かせていただきます。夏季休業中の校内研や研修会で自作した資料を元を書いていきますので、聞いたことのある内容のところは復習と思って、ご容赦ください。

★『能力』がついたかどうかは、やってみなければ分からない！

例えば、授業後の評価を児童生徒に書かせるときに、『今日の授業は、楽しかったですか』と聞けば、本人の気持ちを答えればよいので正しい結果が得られます。

ところが、『今日の授業は、よく分かりましたか』と聞くと、分かったつもりで本当は分かってなかったということも起こります。授業が分かったかどうかは、はい・いいえで問うよりも、実際に問題を解かせた方が正確に分かります。

このように、学力などの『能力』に関わることは、**実際にやってみないと、身についたかどうかは分かりません。**

★できると思っていたが、できなかった

★できないと思っていたが、できた！

という体験は誰にでもあり、自分の思い込みと 実際の能力とは一致しているとは限りません。

例えば、算数の授業をした後

【問】今日の授業は、楽しかったですか

いいえ ←→ はい
1 2 3 4

自分の気持ちなので、自分で分かる

【問】今日の授業は、よく分かりましたか

いいえ ←→ はい
1 2 3 4

実際に問題を解かせた方が分かる

『能力』は、やってみないと分からない

★『体験活動』を通して、『気づく(児童生徒)』、『見取る(教員)』

基礎的・汎用的能力についても、同じことが言えます。コミュニケーション能力がついたかどうかは、実際に他者とコミュニケーションをとって見ないと分かりません。そのために、体験活動(話し合い活動等の授業での活動も含めて)が必要となってきます。

また、児童生徒自身の気づきだけでなく、先生方が**子どもたちの能力を『見取る』場**にもなります。体験活動を通して子どもたちについた力やこれからつけなければいけない力を『見取る』ことが、キャリア教育での『評価』につながってくると思います。

体験活動は、自己の能力の、大切な『**気づきの場**』であり、事後指導によって『**振り返り**』をすることで、子ども自身が自分の成長を感じ、『**これから どうしていけばいいか**』を考える機会となります。

体験活動は、能力を育てるために行いますが、育ったかどうか**気づく(見取る)**ためにも大切な学習です。

『能力』がついたかどうかは、**やってみないと分からない**

体験活動

事後指導の大切さ

できると思っていたけど、できなかった
できないと思っていたけど、できた！

事前指導があつてこそ

自由筆記の中で

⇒児童生徒…気づく

⇒教員…見取る

★ 体験学習に **キャリア教育視点**を入れることで **思考が変わる**

地域の方や専門家の先生をお呼びして体験学習をするときには、習う内容に加えて、『**講師の生き方から学ぶ**』という視点を入れると、児童生徒の受け止め方が違ってきます。

以前、学年集会で先生方(校長先生にも)に「どんな小中学生だったか」「どんな夢をもっていたか」「どうして学校の先生になろうと思ったか」などを生徒たちに話してもらったことがあります。同じ先生なのに、みんな動機が違うことも、生徒たちには新鮮だったようで、先生方の生き方からいろんなことを感じていました。

例として、調理師さんに料理教室をお願いしたとき

そのまま お願いした場合、児童の感想は

- ★おいしかった
- ★料理を頑張りました
- ★またやりたい
- ★家でもやりたい

なぜ調理師になろうと思ったのか
調理師になって良かったと思うことは
子どもたちが、今やっておいたらいいこと
などの話をお願いしますと
お願いした場合、
児童の感想(考える視点)も変わってくる

キャリア教育
の視点



自校の体験活動を振り返ろう

- ◆ 体験学習が、児童が自分を見つめ直すきっかけの場となっていますか。
- ◆ 他学年が、どんな目的で、どんな体験学習をしているか、知っていますか。
- ◆ 体験学習が、児童が自分の将来を考えるきっかけの場となっていますか。

また、体験活動を通して育った『思い』が、自尊心や学習意欲を高めるための土台にもなっています。今実施している体験活動の中に、あまり達成感がない活動があれば、キャリア教育視点をスパイスにして、ぜひ見直しをしてみてください。

須崎市のすべての小中学校で、たくさんの体験活動が実施され、その中で子どもたちはいろんなことに気づき、将来に役立つ能力が育っていています。



★ ホームページ『須崎のキャリア教育』を更新しています(^o^)/

須崎のキャリア教育
須崎市教育委員会・教育研究所

研究用トップ 活動内容 事業計画 所報 キャリア教育

研究用トップ
活動内容
事業計画
所報
キャリア教育
・地点
・やるべき
・体験活動の記録
・キャリア教育
・研究発表会
・学習指導案
・資料等

にそび須崎のキャリア教育ホ-

H27年12月11日(金)
須崎市キャリア教育
研究発表会

平成27年度 須崎市新委員会

須崎市 教育目標
たくましく、心豊かな人づくり
～人・もの・自然にやさしい人づくり～

須崎市 学校教育ビジョン
◎ 子どもが楽しいと思う学校
◎ 子どもに尊敬される教職員
◎ 子どもを支える地域
※ 後・小中が連携した 地域ぐるみ教育の推進

須崎市 キャリア教育の目標
夢や志を持ち、
自分の未来を切り開いていく子どもを育てる

キャリア教育推進の二本柱

体験活動の
再プランニング

キャリア教育視点での
授業改善

目的・育成する能力の
明確化
事前事後指導の充実

学習することの楽しさが
分かる授業
なぜこれを学習するのか

【須崎市のキャリア教育視点】
◎ 子どもたちが、社会人・職業人・
地域人として自立していく能力を
育てているか
◎ 社会生活に関連する身近なことを
取り上げながら、子どもたちの
関心・意欲を高めているか

【基礎的、汎用的能力】
◎ 人間関係形成・社会形成能力
◎ 自己理解・自己管理能力
◎ 課題対応能力
◎ キャリアプランニング能力
【高知のキャリア教育3本柱】
◎ 学習力
◎ 基本的生活習慣の確立
◎ 社会性の育成

◇ 須崎市教育研究所のHP内に、『須崎のキャリア教育』のページを開設しています。

「須崎市」「キャリア教育」で検索し、
【キャリア教育 - 高知県 須崎市教育研究所】
から見てください。

◇ 各校で作っていただいたキャリア教育視点を入れた学習指導案や、今年度の『体験活動の記録』を載せています。

◇ 内容も少しずつ増やしていきますので、見に来てくださいねー☆

★12月11日(金)は、上分小中学校を会場に、『須崎市キャリア教育研究発表会』を開催！

当日は、各校のキャリア教育担当者の悉皆研修にもなっています。詳しくはHPの1次案内をご覧ください。